

ばんたねニュース BANTANE News

平成 25 年 3 月 1 日発行

FUJITA HEALTH UNIVERSITY, BANBUNTANEHOTOKUKAI HOSPITAL

vol. 16



痛み緩和センターの紹介

■ 痛み緩和センターとは？

痛みは本人にしか分からない感覚です。通常は痛みを感じることによって危険から身を守るように働きますが、慢性的な痛みになると、痛みそのものによって日常生活に支障をきたす場合があります。痛み緩和センターは、手術後の痛みや外傷による急性痛はもとより、慢性痛、癌性痛の緩和にも最新の技術、考え方に基づいて積極的に取り組んでいます。窓口は麻酔科外来に直接お越し頂くか、既に治療を受けている診療科の主治医に伝え「痛み緩和センター」を受診ください。



痛み緩和センター
カンファランス風景

どのような病気の患者さんが受診するのですか？

痛みは原因について様々な分類がされていますが、いずれであれ受診して頂ければ、原因の検索と共に治療を行います。現在は、整形外科的な腰下肢痛患者さんが半数を占めていますが、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛など、神経自体が障害された痛みの患者さんは、痛み緩和センターでの治療がベストと思います。

どのような検査をしますか？

初診の患者さんには、病歴などの問診とともに簡単な心理テスト、痛み部位を中心とした身体の診察と血液、尿検査を実施します。さらに必要な場合には皮膚温測定、エックス線撮影、CT検査、MRI検査などを行います。

痛み以外の治療対象には どのような病気がありますか？

緊張して手に異常なほど汗をかいてしまう手
掌多汗症、人前で話が出来なくなってしまう赤
面症などは、胸腔鏡下胸部交感神経遮断術が適
応になります。突発性難聴などの耳鼻科疾患、
中心性網膜症などの眼科疾患は、神経ブロック
の一つである星状神経節ブロックの適応と考え
ています。



痛み緩和センターって どんな治療を するの?

神経ブロックとは どのようなものですか？

痛みの情報は末梢神経から脊髄に伝わり、最後に脳に到達してどこがどのように痛いかを感じています。神経ブロックは、こうした痛みの情報を局所麻酔薬で遮断（ブロック）することによって痛みを軽減するものです。末梢神経自体を遮断する伝達ブロック、脊髄への情報を直前で遮断する硬膜外ブロック、脊髄を麻痺させるくも膜下脊髄ブロックなどがあります。

痛みにはどのような種類がありますか？

痛みを考える場合の分類法があります。急性痛、慢性痛、癌性痛に分ける場合と、内臓痛（胃潰瘍や胆石などの痛み）、体性痛（骨折、外傷による筋肉、骨などの痛み）に分ける場合、あるいは神経障害性疼痛（帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、脊椎手術後の痛みなど）、心因性疼痛（精神的なものによる痛み）、侵害受容性疼痛（外傷や炎症などの痛み）に分けて、分類した原因を念頭に治療を行います。

痛みの治療法には どのようなものがありますか？

薬による治療法（内服、注射、座薬、貼り薬など）と神経ブロック、特殊な光を当てる治療法（低出力レーザー、スーパーライザー、キセノン光など）、リハビリテーションなどがありますが、当院ではさらに、低侵襲的な脊髄電気刺激療法、胸腔鏡下胸部交感神経遮断術、修正型電気痙攣療法、エピドラスコピー（腰部硬膜外内視鏡手術）を行います。また、東洋医学的な漢方薬治療、鍼灸治療も行います。

痛み緩和センターの治療法

1

低侵襲治療法

- ① 脊髄電気刺激療法 (SCS)
- ② 内視鏡下硬膜外癒着剥離術
(エピドラスコピー)
- ③ 胸腔鏡下胸部交感神経遮断術
(ETS)
- ④ 修正型電気痙攣療法 (ECT)
- ⑤ その他

2

神経ブロック

- ① 星状神経節ブロック
- ② 硬膜外ブロック
- ③ 腹腔神経叢
- ④ ガッセル神経節ブロック
(三叉神経ブロック)
- ⑤ 神経根ブロック
- ⑥ その他

3

消炎鎮痛処置

- ① 低出力レーザー光照射
- ② キセノン光照射
- ③ スーパーライザー
- ④ SSP治療 (Silver Spike Point)
- ⑤ 経皮的通電治療法 (TENS)
- ⑥ イオントフォレーシス

4

投薬治療

- ① 西洋医学的治療
 - ・オピオイド
 - ・NSAIDs ets
- ② 東洋医学的治療
 - ・漢方薬治療
 - ・鍼灸治療

5

集団治療 (心理療法)

6

理学療法 (リハビリテーション)

詳しくは診療受付時間内(8:30~11:30)に麻酔科外来までお越しください。

